

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	近代建築史特論B（Modern architectural history B）		
ナンバリングコード	R20220	大分類／難易度 科目分野	環境情報学専攻／標準レベル
単位数	2	配当学年／開講期	1 年／後期
必修・選択区分	選択		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M010401	クラス名	-
担当教員名	石井 翔大		
履修上の注意、 履修条件	本授業は輪講を中心に進めますので、指定の教科書を用意してください。		
教科書	初回授業で指示します。		
参考文献及び指定図書	『近代建築の歴史 上・下』（レオナルド・ベネヴォロ著、鹿島出版会、1979年） 『現代建築史』（ケネス・フランプトン著、青土社、2003年）		
関連科目	近代建築史特論A		

○基本情報		
授業の目的	建築技術者として社会に貢献するためには、最新の技術や知識を学ぶことに加え、歴史から先人の知見を学び、自身の立脚点を常に相対化する俯瞰的姿勢をもつことが重要です。本講義では近代建築史に関する知識を学修し、建築技術者に求められる分析力と言語化能力を修得することを目的とします。	
授業の概要	近現代の建築に関する文献を取り上げて輪講し、発表と議論を通じて見識を深めます。扱う文献は建築学に限らず、社会学など関連する諸分野のものも含みます。文献読解と併せて、建築史学の観点から建築作品の事例研究をおこないます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	近代建築史に関心をもち、自身の意見をもって議論に関与することができる			30%
【ディプロマ・ポリシー②】	近代建築史に関する重要な概念を理解し、説明できる			30%
【ディプロマ・ポリシー③】	文章や図、表を用いて論理的なコミュニケーションができる 歴史解釈に基づき現代の建築のあり方を考えることができる			40%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

--

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 近代建築史特論B（Modern architectural history B）	授業コード M010401
担当教員 石井 翔大		
学修内容		
1. ガイダンス		
教科書の説明、授業の進め方、担当決めを行なう。		
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。	約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。	約2時間
2. 輪講、議論		
教科書を用いた輪講、議論を行なう。		
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。	約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。	約2時間
3. 輪講、議論		
教科書を用いた輪講、議論を行なう。		
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。	約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。	約2時間
4. 輪講、議論		
教科書を用いた輪講、議論を行なう。		
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。	約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。	約2時間
5. 輪講、議論		
教科書を用いた輪講、議論を行なう。		
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。	約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。	約2時間
6. 輪講、議論		
教科書を用いた輪講、議論を行なう。		
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。	約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。	約2時間
7. 輪講、議論		
教科書を用いた輪講、議論を行なう。		
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。	約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。	約2時間
8. 輪講、議論		
教科書を用いた輪講、議論を行なう。		
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。	約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。	約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	近代建築史特論B（Modern architectural history B） 石井 翔大	授業コード	M010401
学修内容				
9. 輪講、議論 教科書を用いた輪講、議論を行なう。				
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。			約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。			約2時間
10. 輪講、議論 教科書を用いた輪講、議論を行なう。				
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。			約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。			約2時間
11. 輪講、議論 教科書を用いた輪講、議論を行なう。				
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。			約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。			約2時間
12. 輪講、議論 教科書を用いた輪講、議論を行なう。				
予習	教科書の該当部分を読み、関連資料に関する調査をおこなう。			約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。			約2時間
13. 作品研究、議論 作品研究に関する発表、議論を行なう。				
予習	取り上げる作品を選定し、関連資料に関する調査をおこなう。			約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。			約2時間
14. 作品研究、議論 作品研究に関する発表、議論を行なう。				
予習	取り上げる作品を選定し、関連資料に関する調査をおこなう。			約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。			約2時間
15. 作品研究、議論 作品研究に関する発表、議論を行なう。				
予習	取り上げる作品を選定し、関連資料に関する調査をおこなう。			約2時間
復習	授業内容を振り返り、自らの見解をまとめる。			約2時間
16.				
予習				
復習				